

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 門司海青 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

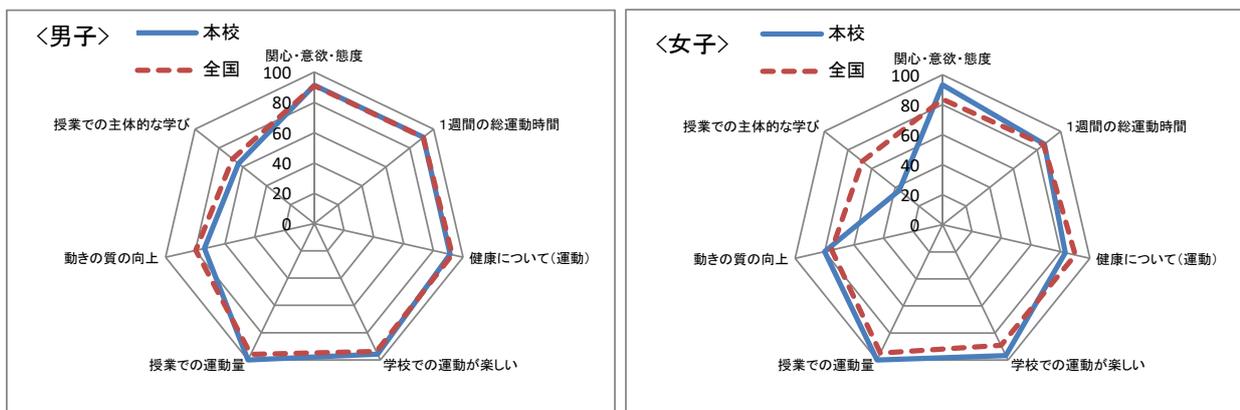
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

本校児童は、運動に対する意欲もあり、1週間の総運動時間も全国平均と同等である。また、学校での体育の授業に対しても意欲があり、授業で体を動かしているという実感も持っていると思われる。しかし、体力調査や体力向上に向けて目標を持っている児童が全国よりも少ない。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で、体力調査の種目が限られたり、体力調査が2年間続けて中止となったことが要因であると考えられる。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

全校の取組として、10月3日の運動発表会に向けて、めあてをもち、走力の向上を目指す授業を行った。柔軟性や走力を高める動きを取り入れて、準備体操を行った。保護者に参観してもらうことで、児童の体力向上への意欲もさらに高まった。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

児童の体育委員会が室内でできるリズム運動の動画を作成した。各学級でその動画を見ながらリズム運動を行った。また、体育委員会は、休み時間を活用して、低中学年児童に向けて縄跳び教室を開いた。運営委員会の取組として、兄弟学級で運動場で体を動かす遊びの集会を行った。